

爺の雄叫び

国鉄改革を担った爺は、
社会・会社の変化に対し
黙ってはられない!

本部エルダー連絡会は、昨年11月に開催した「第4回総会」にもとづいて、エルダー組合員が出向しているグループ会社の労働条件、労働環境の改善に向けてアンケートを実施します。

アンケートの目的は大きく5点!!

1. 出向先の労働条件、労働環境の把握と改善をめざすこと
2. 賃金・労働条件の格差是正、同一作業・同一手当などの制度をめざす
3. 国鉄改革の検証とこれまでの会社施策の検証
4. エルダー組合員との会話を通じた運動とプロパーとの連携強化
5. 社会連帯活動を通じた65歳以降の新たな働きがいの創出に向けた検討

またJR本体（現役）は、「統括センター化」に伴う業務の「融合と連携」により要員が不足し、休日出勤・時間外労働増が当然のようになり、現場は疲弊し退職者が後を絶ちません。悪循環に陥っています。

また、グループ会社においては、JR本体から管理者以上が多く天下っている一方でプロパー社員の賃金が低く抑えられているという実態も報告されています。

グループ会社の労働条件・労働環境が、将来の「JR東日本」と言われてもいます。今こそ、現役・エルダー組合員一体となって、労働条件・労働環境を改善していかなければなりません。



3月14日が集約です

ご協力お願いします!!

「25春闘・エルダー組合員怒りのアンケート」